

# 自分さがし ③

## 修学旅行保護者説明会を行いました

暑い中、集まっていた保護者の方々、ありがとうございます。  
約半数の保護者の方に参加していただきましたが、欠席のご家庭もあ  
りますので、説明会の要旨をお伝えします。

まず、学校長のあいさつは以下のようです。



(前略)

さて、第42回生学年集団におきましては、当初、5月実施で沖縄方面修学旅行を計画しておりました。活動計画の大きな柱は、平和学習と班別行動による社会性や公共性を身につけることでした。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、候補地を東京方面に切り替えましたが、東京都では現状の通りの状況となりました。そこで、西日本が安全との判断から、再度、候補地を長崎、福岡方面に変えました。このことは、6月8日の進路説明会の際にお知らせいたしました。しかしながら、九州方面につきましては福岡県を中心に現状は連日の報道等でご案内の通りでございます。

兵庫県内の市町におきましては宝塚市や高砂市など、市教委が修学旅行を中止した市町もございます。また、姫路市のように校長会が中止の方針を市教委に報告した市もございます。このような状況に置きまして、中学校長会と市教委で協議を重ねてまいりました。市教委といたしましては、中止という前提ではなく、実現可能な方策を打つ中で各種の行事を実施して欲しいとの方針でした。本校では、学年団と協議し、42回生の生徒のみなさんには、辛い状況ですが、感染症対策に可能な限りの対策を講じ、より安全な候補地を探り、特別活動を実施する中で得る達成感や集団の中で学ぶ自己有用感などを得てもらいたいと考えています。

(後略)

続いて、◆◆先生から別紙のプリント(修学旅行の実施について)を使い、説明がありました。

1番に考えるのは、『安全・安心』です。校長先生の話にもあったように、昨今の九州方面の感染者数を考えると、当初予定していた北九州方面は避けざるをえません。そして、実施基準に基づいて候補地を旅行社とともにいくつか考え、より安全に、感染症対策がなされている施設等で考えました。そうすると、移動手段はバスが有効だと考え、もし万が一、不測の事態が起こったときも車で動ける距離で再検討しました。

小学校で訪れている広島を含む中国地方や、感染者が多い府県は避けたところ、淡路島・四国方面を考えています。まだ、現段階でははっきりとした行程は決まっていますが、2泊3日で考えています。ただし、宿泊施設の確保などが難しい場合は1泊2日になる可能性もあります。

「その他」のところに書いてあるとおり、9月7日に再度、実施要項および参加確認書を配布しますので、よくご家庭で話し合ってください、参加確認書の提出をお願いします。

東武トップツアーズ ◆◆さんよりプリント(旅行契約の解除に伴う取り消し料)を使い説明がありました。

国から修学旅行の取りやめの要請があった場合は全額返金になりますが、学校の判断で中止を決定した場合は、現段階でも企画料金は発生します。

また、GoToキャンペーンの適用にはなるので、最大でも5万程度になりますので、2万ほどは返金できると思います。まだ、行程がはっきりしていないので、見積もりができていません。決まり次第、学校を通じて詳細はお知らせします。

【質疑応答】

Q、「参加見合わせ(不参加)の生徒が多数出た場合は、修学旅行の実施を中止」とあるが、その数はどれくらいですか？

A、(神戸市の例も参考に考えたところ)全体の10%程度と考えています。



「紆余曲折」…今後もまだまだ検討しながら進めていくべき行事になりそうですが、先生たちの願いは『みんなに楽しい思い出をつくってほしい』それだけです!!